



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第5号 (H22.5.13)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

しつ じつ ごう けん
質実剛健

5月

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」

60h 泉西戦（二校定期戦）行われる！



5月11日（火）に伝統の二校定期戦が行われました。この定期戦の始まりは、当時、泉ヶ丘に長く勤務されていた小平田仁兵衛先生（当時：教頭）が退職されることになり、労をねぎらう会がもたれた時、良きライバルとしてお互いに意識するようになった背景の中で、対西高野球定期戦をやろうという話を持ったのがきっかけです。この定期戦は、鹿児島県の鶴丸高校対甲南高校の「甲鶴戦」よりも歴史は古く、宮崎市内の4校定期戦などへも広がっていきました。そして、何よりも両校の生徒が親睦と愛校心を高め、全ての面で切磋琢磨する精神を育成していくなど、両校の教育活動に大きな成果をもたらしております。今回は3対2で泉ヶ丘高校が勝利しました。今年は例年になく応援などが盛り上がり、泉ヶ丘生徒の日頃



（大竹校長先生の始球式）

（両校キャプテンの選手宣誓）

のパワーが見えました。附属中の生徒も定期戦の熱戦を肌身で感じ伝統の重みを感じたのではないのでしょうか。

初めての附属中校内テスト「中間テスト」実施！

初めての附属中での校内テスト「中間テスト」が5月17日（月）と18日（火）に実施されます。日頃の勉強への取組が評価されるテストとなります。今回は、テスト範囲も短く、勉強もしやすいのではないかと思います。さて、皆さんテスト勉強、はかどっていますか。土曜日・日曜日の過ごし方がテスト結果の大きなカギとなるでしょう。キアイを入れて勉強に取り組んでください。

テスト勉強のやり方がわからない人は、各教科の先生に尋ねることも大切です。積極的に聞きましょう。

	1校時	2校時	3校時
17日	国語	数学	英語
18日	社会	理科	

感謝の気持ちを大切に！

内外教育という小さな冊子に、次のようなことが書かれていました。

ある雨の日、駅に降り立った女子高校生が携帯電話で「この駅まで自動車で迎えに来て、しかも「そんなこと後にしてすぐに迎えに来て」ときつい口調で当然のように親を呼び出している。しばらくして迎えの車が来た。「遅い、何しているの」と母親をしかりながら車に乗って帰って行った。



皆さんは、この文章を読まれてどのように思われるでしょうか。以前、私が勤めていた中学校は、公衆電話が職員室近くにあり、生徒が母親に迎えの依頼をする声がよく聞こえました。ふとその時のことを思い出しました。私は、「迎えに来て」という生徒に対して「迎えに来てください」でしょうと、よく言ったものでした。生徒の皆さん、同じようなことをしていませんか。枠の中に書いてあるようなことを平気で言っていませんか。習い事などの迎えに来てもらうときはどうでしょう。最後には「ありがとうございました」とか「ありがとう」とか言っていますか。「**親しき仲にも礼儀あり**」で大切なことです。自己中心的な考え方を持つ人は、感謝の気持ちがなく「してくれるのが当たり前」という考え方しかできないようです。これは、小さい時にそのような「しつけ」をしていない親の責任でもあります。普通に考えれば、親がわざわざ時間を割いて、迎えに来てくれたのだから親に感謝の言葉を言うのは当たり前の話です。でも、そのような「しつけ」や「話」をしっかりしない家庭では、迎えに来てくれたことを「当たり前」と思ってしまい、お礼の言葉が素直に言えなくなる。実に怖い話です。ひいては、すべてを自己中心的に考え、自分の思うようにならないと怒り出してしまうことにもなりかねません。昨今のテレビや新聞等での事件の報道を見ていると、このようなことと因果関係が強いように感じます。

家庭の三大役割として、「安息の場、しつけの場、親が子どもにモデルを示す場」ということも書いてありました。この三大役割をもう一度確実に実践したいものです。そして、自分のために何かをしてもらったときは、素直に「ありがとうございました」と言える人になってほしいものです。

附属中生には、感謝の気持ちを持って毎日の学校生活を充実させてほしいと思います。そのために、授業に真剣に取り組んでいるか、係活動や掃除・運動はしっかりできているか、部活動に真剣に取り組んでいるか、家庭の支えがあるから勉強や部活動できることを忘れていないか……そのようなことをふり返り、自分自身を見つめ直してみましょう。

感謝の気持ちがなく、自己中心的な考え方の持ち主は、私の経験から考えて、3年生になったときに最も後悔する人たちです。

自分を取り巻く人やものに感謝する心を持ち、今を大切に頑張り、自分の夢を叶えてほしいと思います。



